

2

三鷹のまちについて 考える



「まち歩き・ワークショップ」では、三鷹のまちの課題と、まちをよりよくするために、市民のみなさんが考えた**まちづくりのアイデア**をまとめました。

たくさんのアイデアを手がかりに、三鷹の**まちの将来像**を思い描いてみましょう。

- ① 自然やまちの魅力を体感
- ② 農のある暮らしを楽しむ
- ③ 緑豊かで安心して暮らせる環境づくり
- ④ 地域の人が集まる商店街づくり
- ⑤ 地域で関わる公園・広場づくり

なんだか楽しい
まちになりそう！



私たち市民が
取り組んでいけると
いいわね♪

※「まち歩き・ワークショップ」について

「まち歩き・ワークショップ」は、市のまちづくりに関する計画や第4次基本計画などの策定にあたって、平成22年度に、市民と市の協働で、地域からのまちづくりの提案を生み出す場として実施しました（3ページ参照）。

公募による市民、住民協議会、町会・自治会、商工会、市民活動団体や学生など、大勢の方にご参加いただきました。

7つのコミュニティ住区ごとに、市民と市が共にまちを歩き、課題を出し合い、そのうえで改善したいこと、残したいこと、守っていきたいことなどについてアイデアを考えました。



① 自然やまちの魅力を体感

自然やまちの魅力を市民の手で育て、歩いて楽しいまちをつくろう

自然を末永く受け継いでいくために
一番大切なのは、人づくり。
幼い頃から体験的に学ぶことが大切！



子どもも含めたさまざまな市民が
自然を守る取り組みに
参加できる入口をつくろう

- ・ウォークラリー、ウォーキング大会で、自然を肌で感じてもらう
- ・学校行事と連携して、子どもたちに自然の大切さを伝える機会をつくろう
- ・川で舟遊びイベントを企画して、川からまちを見る機会をつくろう
- ・崖線の斜面緑地の手入れなどを地域で行おう
- ・在来種の保全や外来種対策を進めよう



三鷹の顔となるような観光資源だけでなく、
まちのよさを幅広く味わってほしい…



ジブリ美術館などの観光資源をPRするとともに、
地域でおもてなしの心を育てよう

- ・観光資源を歩いて巡ってもらえるように、周遊ルートを考えたり、案内板を設置しよう
- ・観光資源周辺でマルシェや小中学生の芸術発表を開催しよう
- ・文豪の名所をめぐるまち歩きを行おう

地域の魅力的な資源は
案外知られていないもの。
積極的にアピールできるといいな！



豊かな自然に触れられる
遊歩道や、散策ルートの
案内サインやマップをつくって、
多くの人を楽しめるようにしよう

- ・おすすめの眺望スポット、魅力スポットを載せたマップをつくろう
- ・昔の武蔵野を詠んだ俳句などを展示し、道行く人に伝えよう
- ・散策ルートには、地域が管理するベンチや花があるとよい
- ・遊歩道に愛着をもってもらえるように、三鷹にちなんだ名前をつけよう



② 農のある暮らしを楽しむ

農のある暮らしを楽しんで、地域全体で武蔵野の風景を受け継いでいこう

年々失われていく、
まちなかの貴重な農地を守りたい

地域の住民が農地に触れ、
保全の取り組みに参加できる機会をつくろう

- ・ 援農ボランティアなど、地域全体で農を支える取り組みをしていこう
- ・ 農家の協力を得て、作物の収穫や種植えなどの季節のイベントを行おう
- ・ 農を通じて、子どもと高齢者のコミュニケーションの場をつくろう
- ・ 学校給食や学校農園などを通して、子どもに地産地消の考え方を伝えていこう
- ・ 農地はいざというとき、避難場所として利用しよう



地域に歴史的な資源があることを、
住民自身が気付いていないのでは？

鷹場標石、用水路跡をはじめとした
地域の歴史や文化を伝える資源を
守り、活かしていこう

- ・ お寺の片隅などにある鷹場標石をもっと知ってもらえるように工夫しよう
- ・ 用水路跡などの地域の歴史を、何らかの形で伝えよう

屋敷林など個人のお宅の緑は、
「枝や落ち葉が敷地の外に出ちゃう」
「維持管理が大変」など、持ち主の負担も大きい…

屋敷林・雑木林・大樹の風景は、
地域の住民が愛情と手をかけて
守っていこう

- ・ 人の手を入れて維持されてきた雑木林を、里山として再生させて、緑との付き合い方を学べる拠点としよう
- ・ 雑木林や竹林の間伐を適度に行い、周辺の道を明るく安全にしよう
- ・ 地域のシンボルツリーにまつわるエピソードを伝えたり、樹名板をつけて、保存につなげよう



③ 緑豊かで安心して暮らせる環境づくり

地域でまちの魅力や課題を共有し、緑豊かで安心して暮らせる住宅地を守り育てていこう

個人宅の生け垣や庭木などが織りなす
緑豊かで落ち着いた住環境を守りたい

良好なまち並みや緑の保全、
通りに面する部分の緑化によって
緑豊かな住環境を守り育てていこう



緑がうっそうとして死角になったり、
人目につきにくい場所では不法投棄の問題も…

美化の取り組みや見回りによって、
犯罪の起こりにくい住環境づくりに取り組もう

22

- ・ 地域の子どもたちを対象に、よい景観に投票する景観コンクールを開催して、まち並みづくりを盛り上げよう
- ・ 個人の庭を開放し、庭自慢大会を行おう
- ・ 開発や建替えの際には、今ある緑を残せないか考えよう
- ・ 今ある住宅地の景観に調和した建物を建てよう
- ・ 在来種を用いた特徴ある緑づくりを進めよう
- ・ 地域にある桜並木は、魅力を伝え、地域の住民による管理を進めていこう

- ・ 子どもを中心に、おそうじイベントを行い、環境美化と環境教育を兼ねた取り組みをしよう
- ・ 万年塀やブロック塀を、柵や生け垣につくりかえ、風通しや見通しをよくしよう
- ・ 落書きの多い高架下などは、幼稚園児・小学生に絵を描いてもらって、明るくライトアップしよう
- ・ 通り抜け道の沿道にボランティアで花壇をつくり、ゴミ捨てを抑止しよう



④ 地域の人が集まる商店街づくり

一体感のあるまち並みづくりや地域の人々の居場所づくりを通して、商店街の魅力を高めよう

かつては子どもの遊び場、
学びの場でもあった商店街、
昔と比べると淋しくなった…



地域のコミュニケーションの場として、
商店街を元気にしよう

- ・駄菓子屋のような場所があると教育にもよいので、子どもたちの居場所や学びの場となる商店街にしよう
- ・地域の神社などに協力してもらい、昔、商店街で開催していた朝市を復活させ、地域の人々が地場のものを知り、消費する循環を再生しよう



まち並みでも魅力を発信していきたい



商店街として
魅力的なまち並みをつくりだそう

- ・将来のイメージ像を持ち、まち並みづくりに取り組もう
- ・建物の高さや色など、建物を建てる際のルールづくりをしよう
- ・看板やのぼりなどにも統一感をもたせよう
- ・プランターやベンチをおいて、花いっぱい憩える空間にしよう

お得意先の住民は高齢になり足が遠のく…
より若い世代にも利用される場としていきたい



地域や時代のニーズにあった
サービスを生み出すとともに、
情報発信に力を入れ、
商店街の魅力アップを図ろう

- ・高齢者が歩いて買い物に行けて、一人暮らしのお年寄りの見守りにもなる、高齢者にやさしい商店街にしていこう
- ・空き店舗を活用して、若い人などを対象としたチャレンジ・ショップをつくろう
- ・フリーペーパーやコミュニティFM、ケーブルテレビと連携して、お店の声を地域に伝えていこう



⑤ 地域で関わる公園・広場づくり

公園や広場を地域住民の手で、季節や地域らしさを楽しめる場、コミュニティの要となる場として活かしていこう

暗かったり老朽化しているなど、
管理が行き届いていない公園・広場も…

公園や広場の管理に地域が関わることで、
もっと利用される場になるよう工夫していこう



もっと地域で親しみをもって
関われる場になるといい

子どもの遊びや緑をきっかけにした
交流イベントを実施しよう

24

- ・ コミュニティで、公園や広場の管理に関わろう
- ・ 地域の人が訪れ、自然に触れることのできる場所をつくろう
- ・ 四季を感じる花や木を植えよう
- ・ 実のなる木など、楽しいきっかけをつくろう
- ・ 公園にほっとベンチを増やそう
- ・ 町会などで防災倉庫を設けるなど、防災機能を備えた公園にしていこう

- ・ 木になった実の収穫祭をやってみよう
- ・ 大人が昔の遊びを教えながら、子どもたちを見守るような遊び場をつくろう
- ・ 学園祭などの機会を活かし、市民と学生と一緒に楽しめる取り組みをしよう
- ・ 植木市や地元野菜販売などのイベントを開催しよう
- ・ ガーデニングコンテストを開催しよう

